



MOTODA は人に親切なバルンサーワイマンを提供します

ホワイトペーパー

元田技研有限会社

ワイマンの設置とアクセサリ

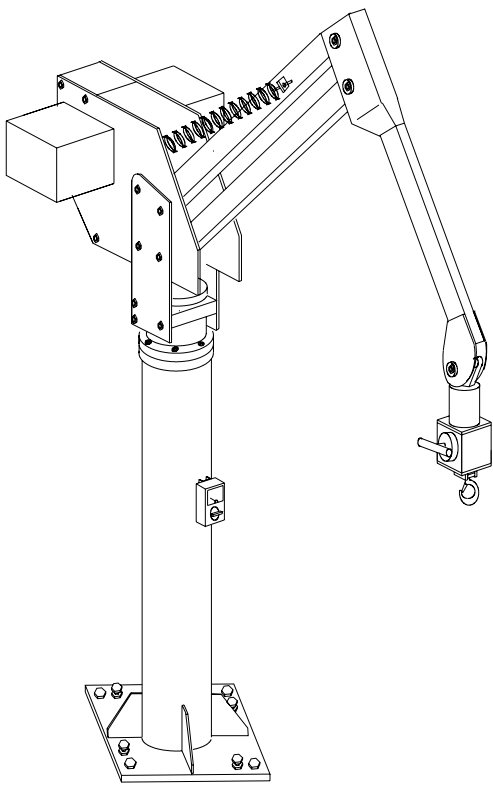
目次

1. ワイマンの設置方法
2. ワイマンのアクセサリ

1. ワイマンの設置方法

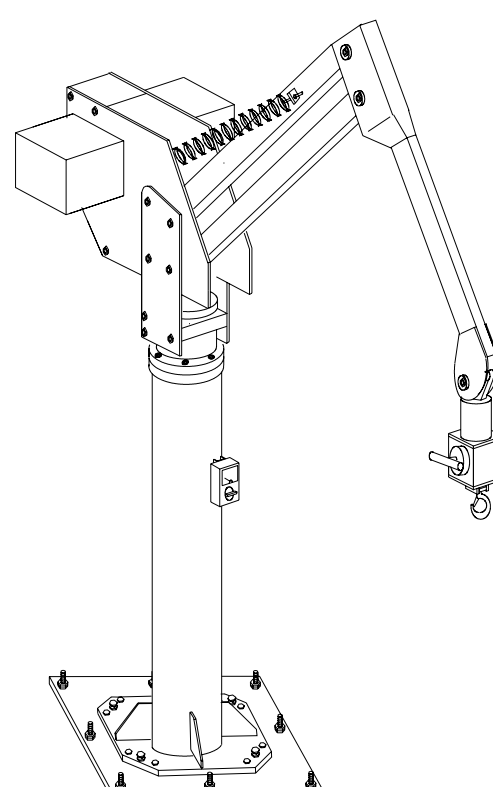
ワイマンの設置は、片持ち梁を据え付ける場合と同様の設置条件が必要となります。ワイマン各機種の仕様書内に転倒モーメント及び本体の質量などが記載されていますので、設置場所の強度の確認時にご利用ください。

(1) 主な設置方式



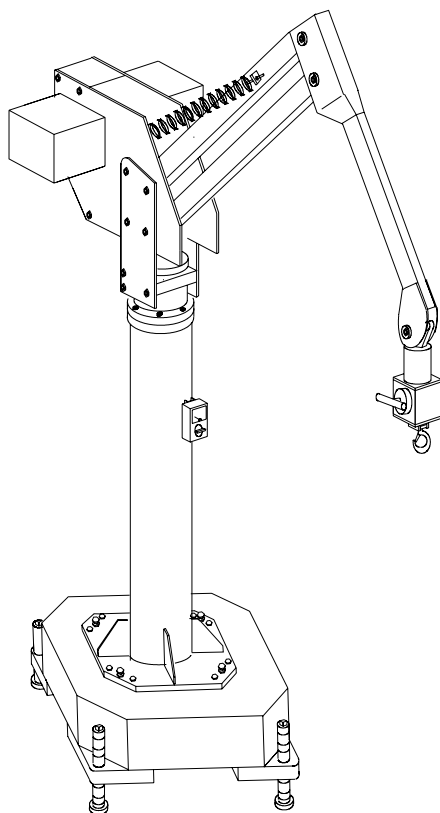
地上固定型

- ・ 床に基礎を設置して、据え付けます。
設置場所の地耐力により施工方法が異なります。
- ・ 土木業者にローディングデータを提示して施工を行ってください。



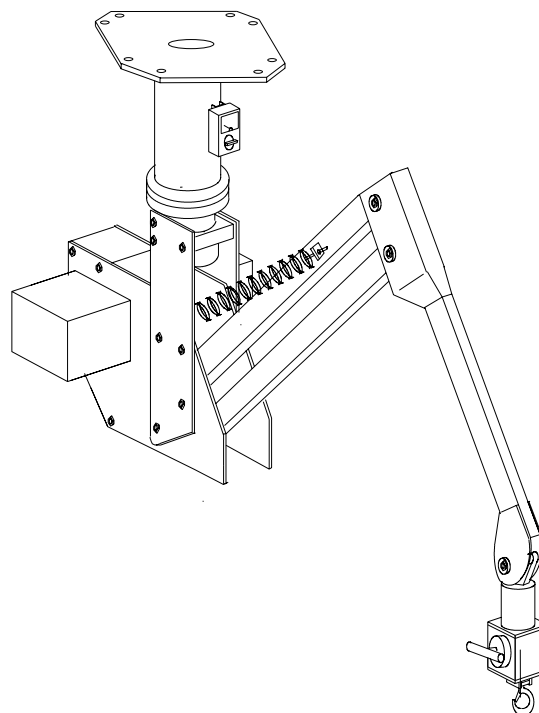
ケミカルアンカーベース型

- ・ ケミカルアンカーを使用して、設置部に取り付けプレートを固定します。
- ・ 弊社製のケミカルアンカーベースは、コンクリート厚 150mm以上、同上圧縮強度 2.1 kN/cm^2 の場合にご利用可能です。
- ・ 形状等はホームページ内商品情報を参照ください。



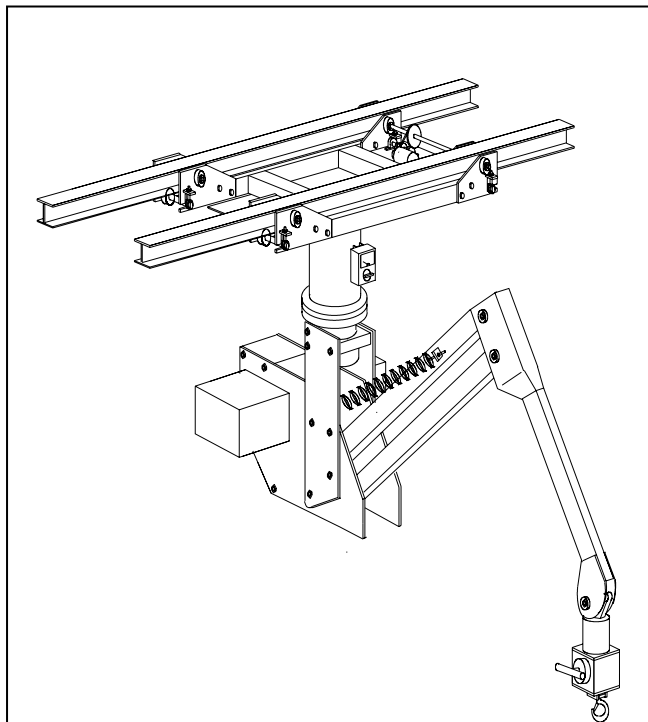
1000 角台座型

- ・ 床に基礎を設置できない場合や、移動させたい場合に選定します。
- ・ 約1000mm角内に転倒モーメントに耐える質量を持たせた架台です。500型までの機種に適用可能です。
- ・ 四隅に取り付けられているアウトリガーにて水平レベルを調整します。
- ・ 台座に車輪を取り付けた台車型もあります。台車型は180型までの適用となります。
- ・ 台座質量が問題となる場合や、500型以上の機種に付きましては、十字台座が適用されます。
- ・ 形状等はホームページ内商品情報を参照ください。



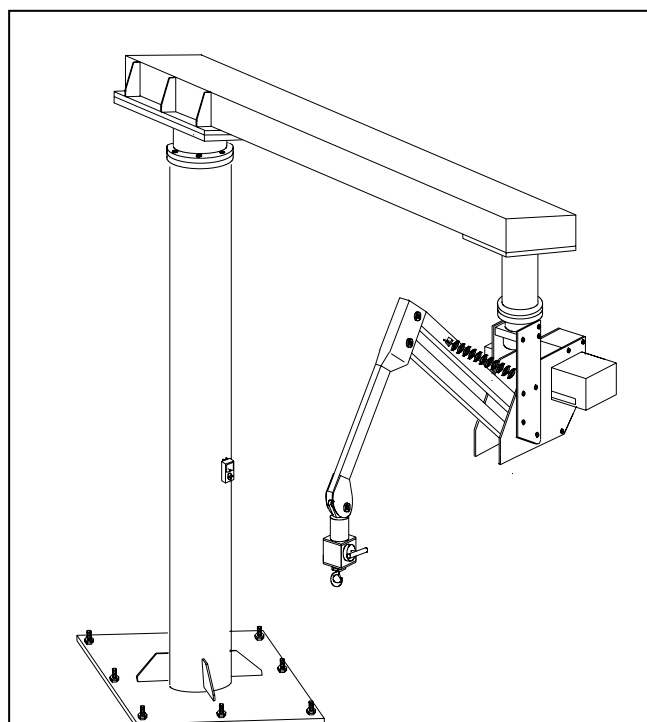
天井吊り下げ型

- ・ ワイマンの設置場所のフォークリフトなどを通したい場合などの、床に設置できない場合に選定します。
- ・ 設置する梁は、転倒モーメント及び垂直荷重に耐える事が必要となります。建設業者にローディングデータを提示して梁の強度をチェックしてください。
- ・ ワイマンは、本体旋回部の取り付けを方向を変更できるように設計されています。



天井走行台車

- ・ ワイマンの設置場所のフォークリフトなどを通したい場合などで、ワイマンの動作範囲を広くとりたい場合に選定します。
- ・ 走行レールスパンは、機種により、1000mmと1500mmとなります。
- ・ 走行レールは、機種により200×100及び300×150のIビームを使用します。走行レールの許容たわみは $800/L$ (レール支点スパン)cm以内にする必要があります。
- ・ 設置する梁は、転倒モーメント及び垂直荷重に耐える事が必要となります。建設業者にローディングデータを提示して天井梁の強度をチェックしてください。
- ・ 走行用のスイッチは、標準ではアーム先端部の操作レバー内に取り付けられています。



電動ジブ型

- ・ ワイマンの動作範囲を広く取りたい場合に、天井走行台車に比べて安価に設置することが可能です。
- ・ 設置する梁は、転倒モーメント及び垂直荷重に耐える事が必要となります。土木業者にローディングデータを提示して床の強度チェック及び基礎設計を行ってください。
- ・ 旋回用のスイッチは、標準ではアーム先端部の操作レバー内に取り付けられています。

(2) ポール、架台の製作について

弊社製のポール、架台のご利用はもとより、お客様にての製作時のサポートもいたします。
ポール、架台についての詳細は、弊社ホームページ商品情報をご参照いただくか弊社までお問い合わせください。

2. ワイマンのアクセサリ

(1) 概要

ワイマンの基本形は、本体、ポールにて構成されますが、条件により架台やアタッチメント及びアクセサリが付加されます。

アタッチメントの形状や安全上の問題で品物の近くにオペレーターがいる事ができない場合には、操作部を継ぎ手によって移動させる事が可能です。

また、作業領域に建屋支柱などの干渉物がある場合は、任意調整式本体旋回ストッパーにて旋回角度を規制します。

電動式アタッチメントを装着する場合や天井走行台車などの電動架台を選定した場合は、制御盤がワイマン本体部に取り付けられます。

機種により形状が異なります。詳しくは、弊社商品情報を参照いただくか、弊社までお問い合わせください。

(2) アクセサリ取り付け例

